岩高文放第 14 号
平成 20 年 9 月 29 日

各高等学校長　様

岩手県高等学校文化連盟放送専門部
専門部長　　遠　藤　洋　一
(岩手県立盛岡第一高等学校長)

第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 26 回岩手県高等学校放送新人大会の開催について(ご案内)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて，下記のとおり標記大会を開催いたしますので，貴校 放送(視聴覚)部(委員会)等の大会参加についてご高配を賜りますよう，お願い申し上げます。

記

1　日時　　平成 20 年 11 月 11 日(火)　　9:00～17:00
2　場所　　岩手県民会館　中ホール他　　〒020-0023 盛岡市内丸 13-1　　電話 019-624-1171
3　その他

開催要項・参加手続き、ならびに制作・審査規定については、別紙をご覧ください。

参加申込書・各種様式等は，放送専門部のウェブサイトからダウンロードしてください。

http://www2.iwate-ed.jp/housou/

担当
岩手県高文連放送専門部事務局
岩手県立盛岡第一高等学校　菊地達哉
tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp
http://www2.iwate-ed.jp/housou/

第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 26 回岩手県高等学校放送新人大会　開催要項

1．目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して，校内放送をとおし番組の制作技術の向上，表現力，創造性の開発および，豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。大会は，岩手県高等学校総合文化祭の一環，ならびに第 12 回東北高等学校放送コンテスト(平成 21 年 2 月 7-8 日・山形市)および第 33 回全国高等学校総合文化祭放送部門(平成 21 年 8 月 1-2 日・三重県松阪市)の予選として実施する。

2．主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3．主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・
岩手県高等学校文化連盟放送専門部

4．後援

株式会社 IBC 岩手放送・株式会社テレビ岩手・岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

5．日時

平成 20 年 11 月 11 日(火)　9:00～17:00

日程の詳細については，後日参加校に実施要項にて連絡する。

6．会場

岩手県民会館 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 13-1
電話 019-624-1171

7．開催部門とエントリー数

(1)アナウンス部門	各校 6 名以内
(2)朗読部門	各校 6 名以内
(3)オーディオピクチャー部門	各校 2 本以内
(4)ビデオメッセージ部門	各校 2 本以内
(5)ラジオキャンペーン部門	各校 2 本以内
(6)テレビキャンペーン部門	各校 2 本以内

8．審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

9．表彰と上位大会推薦

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)…
全国総文祭・東北大会推薦
優秀賞　2　賞状・副賞(楯)…
全国総文祭・東北大会推薦
優良賞　3　賞状…東北大会推薦
奨励賞　6　賞状…東北大会推薦

(2)オーディオピクチャー部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)…全国総文祭推薦
優秀賞　2　賞状・副賞(楯)

(3)ビデオメッセージ部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)
優秀賞　1　賞状・副賞(楯)
優良賞　2　賞状

全国総文祭推薦は，オーディオピクチャーの代表以外の上位 2 校とする

(4)ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)…東北大会推薦
優秀賞　2　賞状・副賞(楯)…東北大会推薦
優良賞　3　賞状…東北大会推薦

いずれの部門も，エントリー数によって表彰数を変更することがある。

10．各種規定

制作・審査規定，各種様式等は，別に定める。これらは放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。

11．エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。エントリー後の変更は認めない。

12．その他

(1)この大会のために集められた個人情報(所属学校名，氏名，学年，性別，入賞者の成績)については，大会の実施，主催者に関連する記録物(印刷媒体，ウェブサイト，放送等)，大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(2)使用著作物については，著作隣接権を含め，権利者の許諾を得るとともに，制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは，放送等で公開されることがある。制作にあたっては，番組に登場する著作物の著作者や出演者，協力していただいた方々などから，公開の承諾を得ておくこと。

別表　手続一覧

	内容・方法	締切
エントリー手続き	参加申込書…別に配布する様式により作成した電子データをメールで事務局に送付する。申込書は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。 http://www2.iwate-ed.jp/housou/ 送付先: tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp	10月21日(火) 17:00必着
	参加料…各部門とも1名(1本)につき，1,000円。次の口座に学校名で振込む。 岩手(いわて)銀行　上田(うえだ)支店　普通　2023372 岩手県高等学校文化連盟放送専門部 専門部長　遠藤洋一(えんどうよういち) 振込手数料は各校負担，参加料の領収書は銀行発行のものとする。	
提出物	アナウンス部門・朗読部門…原稿3部 オーディオピクチャー部門…MD1本，CD-ROM 1枚，台本3部 ビデオメッセージ部門…DV-miniテープ1本・台本3部 ラジオキャンペーン部門…MD1本，台本3部 テレビキャンペーン部門…DV-miniテープ1本・台本3部 **原稿・台本等の各種様式は，**制作・審査規定を参照し，放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。	11月11日(火) 会場に持参

※　理事ならびに引率顧問の皆様には，運営と審査を分担していただきます。
運営・審査をお願いする皆様には，当日の昼食を準備いたします。
運営・審査の分担，日程の詳細等は，エントリー確定後，参加校に実施要項にて連絡いたします。

大会事務局
〒020-8515(住所記載不要)岩手県盛岡市上田3-2-1
岩手県立盛岡第一高等学校　菊地達哉
tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp
電話 019-623-4491　fax．019-654-4227
http://www2.iwate-ed.jp/housou/

第 26 回岩手県高等学校放送新人大会　制作・審査規定　(11/1 改訂版)

1．アナウンス部門と 2．朗読部門の(5)予選を追加　　9.(3)以下を変更

1．アナウンス部門

(1)内容　次のア，イのいずれかの規定による。

ア　第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの規定：自校の校内放送に使用するものとし，原稿を生徒が自作したものに限る。

イ　第 33 回全国高等学校総合文化祭(三重大会)の規定：郷土の「道」に関する話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿。なお，静止画は使用できない。

(2)規定時間　エントリー番号(当日確認)と氏名(学校名を読まない)を読むこととし，それらを含め，1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内。

(3)原稿様式　次のア・イにより作成する。

ア　表紙は様式 1-1，2 ページは様式 1-2，3 ページ以降は様式 1-3 による。エントリー番号は当日確認のこと。

イ　原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所止めで，3 部作成する。

(4)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　内容

(a)素材の選び方は適当であるか

(b)文章表現は適当であるか

イ　アナウンスの技術

(a)自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア　出場者は，A･B の 2 会場に分かれて，エントリー番号順に発表を行う。

イ　各会場から 6 名ずつ，計 12 名を決勝に推薦する。

2．朗読部門

(1)内容　次のア，イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。

ア　第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの指定作品の中から 1 編を選び，自己の表現したい部分を抽出して朗読する。

①「津軽」太宰治(新潮文庫)

②「父の縁側，私の書斎」檀ふみ(新潮文庫，収録作品のいずれも可)

③「うさぎとトランペット」中沢けい(新潮文庫)

④「ジーキル博士とハイド氏」スティーヴンスン著，海保眞夫訳(岩波文庫)

⑤「堤中納言物語」作者不詳(現代語訳不可，出版社不問)

イ　第 33 回全国高等学校総合文化祭の規定：それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品。なお，BGM は使用できない。

(2)規定時間　エントリー番号(当日確認)，氏名(学校名を読まない)，著者名(訳者名は読まない)，書名を読むこととし，それらを含め，　1 分 30 秒以上 2 分 00 秒以内。

(3)原稿様式　次のア・イにより作成する。

ア　表紙は様式 1-1，2 ページは様式 1-2，3 ページ以降は様式 1-3 による。エントリー番号は当日確認のこと。

イ　原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所止めで，3 部作成する。

(4)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　内容

(a)作品の選定は適当であるか

(b)朗読として適切な部分を抽出しているか

イ　朗読の技術

(a)内容表現上，声の出し方や言葉の運びが自然で適切か

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア　出場者は,A･Bの2会場に分かれて,エントリー番号順に発表を行う。

イ　各会場から6名ずつ,計12名を決勝に推薦する。

3．オーディオピクチャー部門

(1)内容　郷土の「道」に関する話題を全国の高校生に伝える内容。MDによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像を併用する作品とする。ドキュメンタリー，ドラマ等の手法は問わない。

(2)規定時間　5分以内

(3)音声制作様式　次のア～クにより制作する。

ア　MDに標準モードで録音する(LPモード不可，Hi-MD不可)。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを持参すること。

イ　MDとケースには，エントリー番号(当日確認)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ　再生は，標準速度，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の最後に「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

カ　クレジットコールを含め，1つのトラックにまとめる。なお，クレジットコールにはBGMや効果音をつけないこと。

キ　計時は本編の最初の音から，終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」の「た」の音までとする。

ク　バックアップ用のカセットテープには,MDと同じ内容を,A面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(4)静止画制作様式　次のア～オにより制作する。

ア　CD-ROMに使用順の数字を付したJPEGファイルを納める(例: 001.jpg 002.jpg …)。

イ　CD-ROMとケースには，エントリー番号(当日確認)，学校名とタイトルを，専用のペン等で直接手書きで記載すること(様式自由,シール貼付不可)。

ウ　静止画像は50画像以内，総容量50MB以内，サイズは1600×1200ピクセル以下とする。

エ　静止画はパソコンからビデオプロジェクタ1台で投影する。パソコンの操作は，発表校が行う。

オ　静止画の投影方法は次のとおり。

使用ソフト: Windows Picture and FAX Viewer

動作OS: WindowsXP

使用方法

・CD-ROMのフォルダを開く

・1枚目の画像を右クリック→「プログラムから開く」→「Windows Picture and FAX Viewer」

・1枚目の画像表示後「F11」キーを押す

・画面右上の「一時停止」マークを押す

・カーソルを画面外に動かして表示されないようにする

・「→」または「Enter」キーで次の画像に切り替える

・終了時には「Esc」キーを押す

・WindowsXP/Vista以外のOSの場合は、Susieによること(www.digitalpad.co.jp/~takechin/)

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ　表紙は様式3-1，2ページは様式3-2，本文は様式3-3による。エントリー番号は当日確認のこと。

ウ　最終ページは様式4により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書(様式自由)，JASRACの明細書,その他使用したすべての著作物について,使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさはA4横を二つ折り・袋とじし、仕上りA5縦判・右2カ所止めで，3部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオと静止画の特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音・撮影の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

4．ビデオメッセージ部門

(1)内容　郷土の話題を全国の高校生に伝える内容。

(2)規定時間　5分以内

(3)制作様式　次のア～カにより制作する。

ア　次のフォーマットで録画した1本を提出する。テープの最初から録画すること。バックアップ用として同じ内容を録画したDV-miniテープを持参すること。

・DV-mini民生用，標準速度，音声は16bit stereoまたは12bit stereo 1，NTSCの4:3に限る(ハイビジョン不可)

イ　テープとケースには,エントリー番号(当日確認),学校名とタイトルを記載すること(様式自由)。

ウ　再生は，標準速度，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の前後に10秒間ずつ，様式5のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ　計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの最初までとする。

(4)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ　表紙は様式3-1，2ページは様式3-2，本文は様式3-3による。エントリー番号は当日確認のこと。

ウ　最終ページは様式4により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書(様式自由)，JASRACの明細書,その他使用したすべての著作物について,使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさはA4横を二つ折り・袋とじし、仕上りA5縦判・右2カ所止めで，3部作成する。

(5)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・撮影・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

5．ラジオキャンペーン部門

(1)内容　指定するキーワードを題材とした番組。

ア　高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ　内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ　番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード　「こめ」

(3)規定時間　25秒以上30秒以内

(4)制作様式　次のア～ケにより制作する。

ア　MD に標準モードで録音する(LP モード不可，Hi-MD 不可)。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを持参すること。

イ　MD とケースには，エントリー番号(当日確認)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ　再生は，標準速度，モノラル(L+R)で行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち，3 秒後に本編を開始する。

カ　本編の最後の音から 3 秒後に「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

キ　前後のクレジットコールを含め，1 つのトラックにまとめる。なお，クレジットコールには BGM や効果音をつけないこと。

ク　計時は本編の最初の音から，終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし，その計測値から 3 秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

ケ　バックアップ用のカセットテープには，MD と同じ内容を，A 面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 2-1，2 ページは様式 2-2，本文は様式 2-3 による。エントリー番号は当日確認のこと。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書(様式自由)，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所止めで，3 部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・指定のキーワードを理解し，番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

6．テレビキャンペーン部門

(1)内容　指定するキーワードを題材とした番組。

ア　高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ　内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ　番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード　「こめ」

(3)規定時間　25 秒以上 30 秒以内

(4)制作様式　次のア～カにより制作する。

ア　次のフォーマットで録画した 1 本を提出する。テープの最初から録画すること。バックアップ用として同じ内容を録画した DV-mini テープを持参すること。

・DV-mini 民生用，標準速度，音声は 16bit stereo または 12bit stereo 1，NTSC の 4:3 に限る(ハイビジョン不可)

イ　テープとケースには，エントリー番号(当日確認)，学校名とタイトルを記載すること(様式自由)。

ウ　再生は，標準速度，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の前後に 10 秒間ずつ，様式 5 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ　計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの最初までとする。

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 3-1，2 ページは様式 3-2，本文は様式3-3 による。エントリー番号は当日確認のこと。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書(様式自由)，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所止めで，3 部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・指定のキーワードを理解し，番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・撮影や録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

7．審査員(全部門共通)

専門職審査員と教育職審査員の 5 名以上で行う。

8．採点・講評(全部門共通)

(1)部門の「審査の視点」に基づき，100 点法，1 点刻みで総合的に採点する。

(2)採点のめやすは次のとおりとする。

20　30　40　50　60　70　80　90　100

悪い　　普通　　良い　　大変良い

(3)各審査員は，得点一覧を，会場ごとに定める審査主査に提出する。

(4)各審査員は，すべての発表ごとに，講評を記載する。

9．得点集計および順位(全部門共通)

(1)得点集計と順位

審査員の最高点と最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。

(2)順位決定の特例

合計点が同じ場合は，カットされた得点の高い方を上位とする。

(3)審査会

最終的な順位決定は，部門ごとの審査員による審査会で行う。ただし，アナウンス部門と朗読部門の予選については，審査主査に一任する。

10．アナウンス部門・朗読部門決勝

(1)決勝進出者は 11 月 11 日(火)の午後に中ホールで発表する。

(2)決勝のエントリー順は，無作為に指定する。

(3)決勝審査では，予選の得点を参考にしない。

11．規定違反(全部門共通)

(1)規定違反は審査の対象としない。なお，重大な違反が判明した場合は，大会後においても賞を取り消すことがある。

(2)計時の許容範囲は，アナウンス部門と朗読部門は±2 秒，番組 4 部門は±1 秒とする。

(3)アナウンス部門と朗読部門の決勝の規定時間違反に限り，失格とせず決勝進出のうちの最下位とする。

12．講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1)講評用紙は，大会後に各校に配布する。

(2)MD・テープ等は，大会後に該当校に返却する。

(3)審査結果一覧は，大会後に顧問に配布する。

岩高文放第 15 号
平成 20 年 11 月 4 日

関係高等学校長　様

岩手県高等学校文化連盟放送専門部
専門部長　　遠　藤　洋　一
(岩手県立盛岡第一高等学校長)

平成 20 年度 第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 26 回岩手県高等学校放送新人大会の運営について(派遣依頼)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。標記大会の参加をお申し込みいただき，ありがとうございました。

さて，大会の運営については，本専門部規約第 11 条により，専門部理事と引率顧問の皆様で実行委員会を組織し，係・審査員を分担していただくこととしております。つきましては，別紙「実施要項」のとおり，貴校の方々を大会実行委員に委嘱しますので，下記により派遣についてご高配を賜りますよう，お願い申し上げます。

記

1　日時

設営　平成 20 年 11 月 10 日(月) 16:00～19:00　(盛岡第一高等学校)
　　17:30～18:30　(盛岡第二高等学校)

大会　平成 20 年 11 月 11 日(火)　9:00～16:50　(全参加校)

2　会場　　岩手県民会館　中ホール他　　〒020-0023 盛岡市内丸 13-1　　電話 019-624-1171

3　委嘱内容　　別紙「実施要項」のとおり

4　その他

実行委員の方々には，大会当日の昼食を支給いたします。

生徒引率の場合は，本専門部では旅費を負担いたしませんので，あらかじめご了承下さい。

担当
岩手県高文連放送専門部事務局
岩手県立盛岡第一高等学校　菊地達哉
〒020-8515(住所記載不要)岩手県盛岡市上田 3-2-1
Fax.019-654-4227　tatsuya-kikuchi@mo1-h.iwate-ed.jp
http://www2.iwate-ed.jp/housou/

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

第 31 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 26 回岩手県高等学校放送新人大会　実施要項

平成 20 年 11 月 10 日(月)～11 日(火)　岩手県民会館

もくじ

1	日程	1
2	会場一覧	1
3	係分担	2
4	タイムテーブル	2-3
5	各係の業務内容	4-7

1　日程　(2～3 ページのタイムテーブル参照)

(1) 平成 20 年 11 月 10 日（月）

17:00-19:00　設営(盛岡第一), 開・閉開式リハーサル(17:30-, 盛岡第二)

(2) 平成 20 年 11 月 11 日（火）

8:35	総括・総務・受付係集合(中ホール入口), 準備
9:00	受付(中ホールロビー), アナ朗原稿・番組台本提出(作品テープ等は会場で発表時に提出)
9:10	審査員打合せ(第 1 会議室), 会場係顔合せ(中ホール), 進行係準備(ステージ袖)
9:30	開会式(中ホール)
10:00	審査，終了時に会場の撤収作業と閉会式準備
15:10	閉会式(中ホール)
15:50	撤収作業(中ホール，第 1～第 3 楽屋)
16:00	代表者(校)指導(第 1-4 会議室)・撤収(代表校)
	代表校顧問打合会(第 1 和室)・撤収(代表校)
16:50	撤収確認，解散

2　会場一覧 (借用日時　11/10・13 時～11/11・17 時)

第 1 会議室	審査員打合会, アナウンス部門予選 AB 会場，生徒昼食，アナウンス部門代表者指導
第 2 会議室	朗読部門予選 AB 会場，生徒昼食，朗読部門代表者指導
第 3 会議室	生徒昼食, ラジオ部門代表校指導
第 4 会議室	顧問控室・昼食，テレビ部門代表校指導
第 5 会議室	専門職審査員控室
第 1 和室	本部(1)，総括・総務・昼食，代表校顧問打合会
第 2 和室	(予備室)
中ホール	開・閉会式, 番組 4 部門，アナウンス部門・朗読部門決勝
中ホール第 1 楽屋	集計・表彰関係
中ホール第 2 楽屋	審査会
中ホール第 3 楽屋	本部(2)，総括・総務
ミーティングルーム	発声会場(11/11・9 時～12 時のみ借用)

借用外の部屋…大ホール(全)，リハーサル室, 展示室, 特別室

3　係分担　(大会実行委員会)

実行委員長: 遠藤洋一(専門部長)　副委員長: 鈴木　俊(副専門部長)

<table>
<tr><th>係</th><th colspan="3">実行委員(所属)</th><th>生徒係員</th></tr>
<tr><td>(1)総括</td><td colspan="3">菊地達哉(盛岡第一)</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>(2)総務</td><td colspan="3">菊地達哉・杉本聖房・鈴木雄平・谷藤さなえ(盛岡第一)</td></tr>
<tr><td>(3)受付</td><td colspan="3">谷藤さなえ(盛岡第一)・髙橋千鶴(盛岡工業)</td><td>盛岡第一 4 名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(4)設営</td><td colspan="3">菊地達哉・杉本聖房・鈴木雄平・谷藤さなえ(盛岡第一)</td><td>盛岡第一 9 名</td></tr>
<tr><td colspan="2">千葉隆(盛岡第二)</td><td>進行</td><td>盛岡第二 2 名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(5)開閉会式</td><td colspan="2">関根由香利(盛岡白百合)</td><td>表彰</td><td>盛岡白百合 2 名</td></tr>
<tr><td rowspan="4">(6)会場(進行・計時・機器・ドア・聴衆整理・撤収)</td><td>アナウンス予選 AB
(第 1 会議室)</td><td>佐藤亜紀(杜陵)
菊地紀子(久慈)</td><td>計時
ドア</td><td>盛岡第三 2 名
黒沢尻北 2 名</td></tr>
<tr><td>朗読予選 AB
(第 2 会議室)</td><td>黄川田千秋(花巻北)・石原聰(盛岡北)
千田純(福岡)</td><td>計時
ドア</td><td>盛岡商業 2 名
盛岡商業 2 名</td></tr>
<tr><td>番組 4 部門・
アナ朗決勝
(中ホール)</td><td>竹本英三(岩手)
大内寿文(田野畑)
昆洋子(専大北上)</td><td>機器
計時
ドア</td><td>盛岡第一 4 名
岩手　　2 名
専大北上 5 名</td></tr>
<tr><td>(7)昼食</td><td colspan="3">谷藤さなえ・菊地達哉(盛岡第一)</td><td>盛岡市立 3 名</td></tr>
<tr><td>(8)記録(写真)</td><td colspan="4">阿部雄至(宮古)・千葉隆(盛岡第二)</td></tr>
<tr><td>(9)集計</td><td colspan="4">石田和秀(雫石)・阿部雄至(宮古)・菊地達哉(盛岡第一)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">(10)審査員</td><td>アナウンス予選 A</td><td>☆久慈千鶴子(岩谷堂)</td><td colspan="2" rowspan="2">予選 AB 共通: 鈴木浄美(宮古)・松田満(黒沢尻北)・鈴木雄平(盛岡第一)・◎平井直子(TVI)</td></tr>
<tr><td>アナウンス予選 B</td><td>☆髙橋篤志(花巻北)</td></tr>
<tr><td>朗読予選 A</td><td>☆照井逸子(盛岡白百合)</td><td colspan="2" rowspan="2">予選 AB 共通: 芳賀範文(黒沢尻北)・髙橋啓(大槌)・杉本聖房(盛岡第一)・◎瀬谷佳子(IBC)</td></tr>
<tr><td>朗読予選 B</td><td>☆川村理恵子(盛岡商業)</td></tr>
<tr><td>アナウンス決勝
朗読決勝</td><td colspan="3">☆照井逸子(盛岡白百合)・川村理恵子(盛岡商業)・久慈千鶴子(岩谷堂)・髙橋篤志(花巻北)・◎平井直子(TVI)・◎瀬谷佳子(IBC)</td></tr>
<tr><td>番組 4 部門</td><td colspan="3">☆渡邊憲二(盛岡第三)・鈴木勇二(盛岡市立)・遠藤直樹(田野畑)・
◎加藤久智(IBC)・◎佐々木款(TVI)</td></tr>
<tr><td colspan="4">☆　主査(部門審査員代表)
◎　専門職審査員(講評・全国大会出場者指導担当)</td></tr>
</table>

以上の先生方には, 大会当日の昼食を用意します。
設営係の先生方には, 11/10 の旅費を支給します。
係の業務内容は 4 ページ以降を参照してください。

4　タイムテーブル

(1) 平成 20 年 11 月 10 日 (月)

16:00	設営係(盛岡第一)県民会館集合, 設営作業
17:00	印刷物・楯・看板納品
17:30	開・閉開式進行係(盛岡第二)中ホール集合, リハーサル

(2) 平成 20 年 11 月 11 日（火）

中ホール (開会式等)				リハーサル室 (発声会場)	第1会議室 (審査員打合せ)	第5会議室 (専門職控室)
8:35 総括・総務・受付係集合・準備						
9:00 受付，原稿・台本提出				9:00 開場	9:00 開場	9:00 集合
9:10 会場係顔合わせ，進行係準備				(12:00まで借用)	9:10 審査員打合せ	←
9:30 開会式						
開会…進行生徒						
挨拶(専門部長)…遠藤洋一						
審査員紹介…菊地						
閉会…進行生徒						
諸連絡…菊地						
9:50 開会式終了						
中ホール (番組4部門)	第1会議室 (アナウンス予選)	第2会議室 (朗読予選)	中ホール第1楽屋 (集計)	中ホール第2楽屋 (審査会)	第4会議室 (顧問控室)	第5会議室 (専門職控室)
10:00 AP開始	10:00 アナA開始	10:00 朗読A開始	(設営)			
	10:48 アナA終了		10:50 アナA集計			
11:06 AP終了	11:00 アナB開始		11:10 AP集計			
11:15 VM開始		11:12 朗読A終了	11:15 朗読A集計		11:30 昼食到着	
	11.48 アナB終了，復元作業，生徒昼食会場	11:25 朗読B開始	11:50 アナB集計 (12:00 リハ室撤収)	(12:00 リハ室撤収)	11:50 アナ予選関係者昼食	11:50 アナ予選関係者昼食
12:21 VM終了			12:25 VM集計	12:30 アナAB審査会 (審査主査のみ)	12:25 番組関係者昼食	12:25 番組関係者昼食
		12:40 朗読B終了，復元作業，生徒昼食会場	12:45 朗読B集計		12:45 朗読予選関係者昼食	12:45 朗読予選関係者昼食
13:15 アナ決勝進出発表	(決勝進出者練習会場)				13:10 集計関係者昼食	
13:20 RC開始				13:20 朗読AB審査会 (審査主査のみ)		
13:34 RC終了，朗読決勝進出発表			13:40 RC集計			
13:40 TC開始						
13:57 TC終了			14:00 TC集計	14:20 番組審査会		
14:00 アナ決勝開始						
14:24 アナ決勝終了			14:30 アナ決勝集計			
14:30 朗読決勝開始						
15:00 朗読決勝終了，閉会式準備			15:05 朗読決勝集計	15:00 アナ朗決勝審査会		
中ホール (閉会式)			中ホール第1楽屋 (集計)	中ホール第2楽屋 (審査会)		
15:10 閉会式						
開会…進行生徒						
15:10 番組4部門講評…IBC加藤・TVI佐々木						
15:20 アナウンス部門講評…TVI平井						
15:30 朗読部門講評…IBC瀬谷						
15:40 審査結果発表…菊地			15:40 顧問配布用資料作成			
表彰…遠藤洋一，各部門最優秀賞のみ賞状等授与						
閉会の挨拶…遠藤洋一						
閉会…進行生徒						
諸連絡…菊地						
15:50 閉会式終了，最優秀賞以外の賞状等配布			15:50 撤収			
中ホール	第1会議室 (アナウンス部門)	第2会議室 (朗読部門)	第3会議室 (RC部門)	第4会議室 (TC部門)	第1和室 (顧問打合会)	その他
15:50 撤収作業	16:00 代表者指導	16:00 代表者指導	16:00 代表校指導	16:00 代表校指導	16:00 代表校顧問打合会	15:50 撤収作業
16:20 撤収	16:50 終了・撤収	16:50 終了・撤収	16:50 終了・撤収	16:50 終了・撤収	16:50 終了・撤収	16:20 撤収

5　各係の業務内容

共通事項

・この運営マニュアルに従って，スムーズな運営にご協力ください。
・係の先生は，必ず生徒係員とミーティングを行ってから準備を行ってください。
・係で判断できない事態が発生した場合は，総括係(盛岡第一　菊地)へ報告し，預けてください。
・非常時の場合は，会場(県民会館)からの指示が優先となりますので，緊急性が非常に高い場合以外は，独断での判断はお避けください。
・時間管理の徹底をお願いします。
・昼食・休憩は，時間差でとっていただき，運営上の穴が開かないようにお願いします。

(1) 総括・(2) 総務　(第１和室)

菊地達哉・杉本聖房・鈴木雄平・谷藤さなえ(盛岡第一)，生徒なし
・渉外・庶務等の一切…参加申込の受理・印刷物・看板等の手配，配布物(プログラム等)の準備，運営マニュアルの作成，会場の借用等の手続き，昼食の手配，開・閉開式の進行アナウンス等の原稿作成を行う。
・審査用紙一式(エントリー数×5、アナ朗決勝は 6)・ストップウォッチ(2×3 会場→6)・計時記録用紙(6 部門＋アナ朗決勝)を作成し，部門の審査主査と会場係に配布する。
・賞状・表彰用個票の用意，審査結果の発表，代表校顧問打合会を開催する。

(3) 受付　(中ホールロビー)

谷藤さなえ(盛岡第一)・髙橋千鶴(盛岡工業)，盛岡第一生徒 4
・中ホール入口で学校ごとの受付を確認し，配布物(プログラム等)を配布する。
・配布物(プログラム等)は前日までに学校単位でまとめておく。
・各部門の原稿・台本(3 部)を提出させ，指定のコンテナに整理し，開会式後に部門の審査会場に移動する。
・開会式後，受付の撤収を行う。
・閉会式後，ステージで最優秀賞以外の賞状等を配布する。

(4) 設営　(前日)

菊地達哉・杉本聖房・鈴木雄平・谷藤さなえ(盛岡第一)，盛岡第一生徒 9
千葉隆(盛岡第二)，盛岡第二生徒 2
・会場の設営と開・閉開式のリハーサルを行う。
・当日の撤収作業は，大会に参加した生徒全員で行う。

(4b) 設営　(当日)

・中ホールのステージ上の転換等を行う。

(5) 開閉開式　(中ホール)

進行関係…千葉隆(盛岡第二)，盛岡第二生徒 2
閉会式表彰関係…関根由香利(盛岡白百合)，盛岡白百合生徒 2

① 進行
・開会式・閉会式の進行アナウンスを担当する。
・原稿は総務係が用意する。

② 表彰
・閉会式での表彰の際の介添えを行う。
・表彰される生徒の整列指示を行う。
・賞状等は，総務係が用意する。

(6) 会場

アナウンス予選 AB(第 1 会議室)…佐藤亜紀(杜陵) ・菊地紀子(久慈), 計時…盛岡第三生徒 2, ドア…黒沢尻北生徒 2

朗読予選 AB(第 2 会議室)…黄川田千秋(花巻北) ・石原聰(盛岡北) ・千田純(福岡),

計時…盛岡商業生徒 2, ドア…盛岡商業生徒 2

番組 4 部門 ・アナ朗決勝(中ホール)…竹本英三(岩手) ・大内寿文(田野畑) ・昆洋子(専大北上)

機器…盛岡第一生徒 4, 計時…岩手生徒 2, ドア…専大北上生徒 5

① 会場(顧問)

・部門会場の進行と，係生徒の指導・指示を行う。

・部門の審査員と連携して，スムーズに発表が進むようにする。

・発表のインターバルは次のとおり。部門のタイムテーブルは，プログラムパンフレットを参照のこと。

・アナウンス	2 分
・朗読	2 分半
・AP ・VM	6 分
・RC ・TC	1分

・総務係からストップウォッチ・計時記録用紙・原稿(台本)2 セットを受け取る。

・このうち台本 1 セットは会場係が進行のために用いる。それ以外は計時係生徒に配布する。

・各部門とも，発表者席のほかに，待機席をアナ朗は 5 席，番組は 2 席設ける。

アナ朗決勝では，ステージ上に待機席を 12 席設ける。

・番組部門では，代表の生徒に，テープ・MD 等を機器係に提出させ，エントリー番号・学校名・番組名を述べさせて再生に入る。

・番組部門では，発表のあと，すぐにテープ・MD 等を受け取らせる。

② 計時(生徒)

・各部門とも，ストップウォッチ 2 台・2 名で計時を行う。

・大会規定に基づき，あらかじめ計測の練習をしておく。

アナウンス部門…番号・氏名を含め，1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内

朗読部門…番号・氏名・作者名・作品名を含め，1 分 30 秒以上 2 分以内

AP 部門…最初の音から「制作は○○高等学校(放送部・放送委員会等)でした」までで5 分以内

VM 部門…指定のテストパターン(10 秒)の次のカットから本編終了後の指定のテストパターン(10 秒)の始まりまでで5 分以内

RC 部門…最初の音から「制作は○○高等学校(放送部・放送委員会等)でした」の「せ」まで28 秒以上 33 秒以内

TC 部門…指定のテストパターン(10 秒)の次のカットから本編終了後の指定のテストパターン(10 秒)の始まりまでで 28 秒以上 33 秒以内

・台本(原稿)1 部を受け取り，計時に利用する。

・計時記録用紙を受け取り，計測結果を記入する。

・部門の休憩時・終了時に，計時記録用紙を審査主査に提出する。

・部門の最後の発表の後，台本，ストップウォッチ等を指定のコンテナに入れ，中ホール第 3 楽屋に提出する。

・各会場の発表終了後，会場の撤収作業を行う。

③ 機器(生徒)

・テープ・MD を受け取り，審査員または会場係の先生の指示により再生を行う。

・AP 部門のパソコンの操作は，発表校が行う。

・音量・音質・画質などは，前日の設営の際に調整する。審査開始後は，調整しないこと。

・番組終了時にテープ・MD を停止し，発表者に返却する。

ラジオ… 制作は○○高等学校(放送部・放送委員会等)でした」で終了

テレビ…本編後の指定のテストパターン(10 秒)の始まりで終了

・各会場の発表終了後，会場の撤収作業を行う。

④ ドア(生徒)

・発表中の会場への出入りを禁止するほか，会場内の秩序を維持する。

・会場内，ドア付近に係の場所(椅子・席)を用意する。

・発表と発表の間にドアを開けるようにする。

・各会場の発表終了後，会場の撤収作業を行う。

(7) 昼食 (第 4 会議室・第 5 会議室)

谷藤さなえ・菊地達哉(盛岡第一)，盛岡市立生徒 3

・専門職審査員・教育職審査員・実行委員(顧問)等の昼食について担当する。

・昼食の手配は総務係が行う。

・専門職審査員の昼食場所は第 5 会議室。顧問は第 4 会議室。

・審査員の昼食時間は次のとおり。

アナウンス予選 AB	11:50	番組 4 部門	12:25
朗読予選 AB	12:45	集計関係者	13:10

(8) 記録(写真) (中ホール第 3 楽屋)

阿部雄至(宮古)・千葉隆(盛岡第二)，生徒なし

・総務係からSD カードを受け取り，大会の様子を撮影する。

・終了後，SD カードを中ホール第3 楽屋に提出する。

(9) 集計 (中ホール第 1 楽屋)

石田和秀(雫石)・阿部雄至(宮古)・菊地達哉(盛岡第一)，生徒なし

・審査主査から審査用紙・計時記録用紙等一式を受け取り，集計を行う。

・集計結果を審査会(中ホール第 2 楽屋)に提出。

・審査会の結果(最終成績)を，30 部(参加校数+α)印刷し総務係に提出する。

・表彰用の個票を印刷し，総務係に提出する。

(9) 審査員 (各会場・中ホール第 2 楽屋) ☆は審査主査，◎は専門職審査員

アナウンス予選 A(第 1 会議室)

☆久慈千鶴子(岩谷堂)・鈴木浄美(宮古)・松田満(黒沢尻北)・鈴木雄平(盛岡第一)・◎平井直子(TVI)

アナウンス予選 B(第 1 会議室)

☆髙橋篤志(花巻北)・鈴木浄美(宮古)・松田満(黒沢尻北)・鈴木雄平(盛岡第一)・◎平井直子(TVI)

朗読予選 A(第 2 会議室)

☆照井逸子(盛岡白百合)・芳賀範文(黒沢尻北)・高橋啓(大槌)・杉本聖房(盛岡第一)・◎瀬谷佳子(IBC)

朗読予選 B(第 2 会議室)

☆川村理恵子(盛岡商業)・芳賀範文(黒沢尻北)・高橋啓(大槌)・杉本聖房(盛岡第一)・◎瀬谷佳子(IBC)

番組 4 部門(中ホール)

☆渡邊憲二(盛岡第三)・鈴木勇二(盛岡市立)・遠藤直樹(田野畑)・◎加藤久智(IBC)・◎佐々木款(TVI)

アナウンス決勝・朗読決勝(中ホール)

☆照井逸子(盛岡白百合)・川村理恵子(盛岡商業)・久慈千鶴子(岩谷堂)・髙橋篤志(花巻北)・
◎平井直子(TVI)・◎瀬谷佳子(IBC)

・各部門の審査。審査基準による。

・審査員打合せ(9:10，第 1 会議室)で審査用紙等一式を総務係から受け取る。

・部門の会場係と連携して，進行する。

・部門の休憩時・終了時に，審査主査は，各審査員から得点表の正本・講評用紙を，会場係から原稿チェック用紙を，計時係生徒から計時記録用紙を受け取り，総務係に提出する。

・部門の終了時に，審査員打合せで受領した物品一式を，中ホール第 3 楽屋に提出する。

・審査会(中ホール第 2 楽屋)の出席。ただし，アナ朗の予選の審査会はそれぞれの審査主査のみとする。それ以外は審査員全員が出席する。司会はそれぞれの審査主査。時間は次のとおり。

アナウンス予選 AB	12:30	朗読予選 AB	13:20
番組 4 部門	14:20	アナ朗決勝	15:00

・昼食時間は，(7)のとおり(第 4 会議室・第 5 会議室)。

・専門職審査員の先生には，閉会式での講評(各部門 10 分)と，代表者(校)への指導・助言をお願いします。代表者(校)への指導・助言は，16:00-16:50，場所は次のとおりです。県民会館借用時間がありますので，終了時刻の厳守をお願いします。

アナウンス部門	第 1 会議室	朗読部門	第 2 会議室
RC 部門	第 3 会議室	TC 部門	第 4 会議室